

お米屋さんの 情報紙人気

八幡の女性経営者 5年前から発行

産地体験記や身近な話題



自宅で発行している情報紙のバックナンバーを手にする上田さん(八幡市八幡・米穀店「ウエトミ」)

ユーモラスな文章評判

八幡市で米穀店を営む女性が、来店者や取引先向けに情報紙を5年前から不定期で発行、配布している。米産地を訪ね歩いた体験

や、家族と飼い犬の話などユーモラスな文章の評判が口伝えて広まり、「お米屋さんの新聞」として地域で親しまれている。

今年で創業39年目にな
る米穀店「玄米屋 ウエ
トミ」(同市八幡)の上
組む自身の気持ち、16歳
田那未さん(40)。「五
になる飼い犬の世話な
ツ星お米マイスター」と
して全国から取り寄せた
米を要望や季節に応じて
フレンドして販売してい
る。

創刊当初は200部だ
2010年8月に「か
わら版 今日のご縁にあ
りがとう」を創刊した。
A4判3次で年4回程度
発行。「会話のきっかけ
に」と自宅の印刷機で刷
り、店に配布したり、発
送する商品に添えたりし
ている。

福井県の契約農家での
田植えや稲刈りをした体
験、稲の生育状況を写真
と文章で伝えた。また、
台所だけがをした母に
集中で、上田さんは「お
米に関心を持っていただ
き、地域の話題として役
立ててもらえれば」と話
している。

(山木秀二)